

抗原定性検査(簡易キット)を活用した水際対策事業

危機管理室

1 これまでの取組

■取組の概要

- 感染拡大地域から当地域へのウイルスの持ち込みを防ぐには、他地域との往来者を積極的に検査することが肝要であることから、圏域外との往来をされた方や体調に不安を感じている方に対して、6月21日から7月16日まで簡易検査キットを無料で配布し、水際対策の社会実験を行なった。
- 本事業は、検査キットの実用性や簡易検査に対するニーズを調査し検査キットを活用した水際対策の有効性を検証するため、アンケートによるデータ収集を行った。

■実施事業の概況

- 簡易検査キット配布期間中の新型コロナウイルス感染症の状況
 - ・当市における新型コロナウイルス感染症の陽性者は、第1弾の水際対策を開始する6月5日に1名の陽性者が確認されて以降確認されておらず、検証終了間近の7月13日に1名の陽性者が確認されたのみであった。
 - ・事業を開始した6月21日には全県で「1」であった感染症警戒レベルは、6月23日には、上伊那圏域で「4」(7月7日まで)となった。また、首都圏や隣県である愛知県等では、緊急事態宣言が7月11日まで延長されることとなるなど、当市は四方を感染拡大地域に囲まれ、ウイルスの流入が懸念される状況であった。
 - ・さらに、長野県も含め、首都圏など都市部を中心に、より感染力の強い変異株への置き換えが急激に進んでいる状況下であった。
- 簡易検査キットの申込方法
 - ネット申込 96.3% ファクシミリ・郵送・窓口提出 3.7%
- 簡易検査キットの配布状況
 - 配布件数 1,140件(個人:1,052件、団体:88件)
 - 配布個数 4,923個(個人:3,557個、団体:1,366個)
- アンケート回収状況(7月19日現在)
 - 回答率 個人:74.2%(781/1,052)、団体:17.1%(233/1,366)
 - トータル 41.9%(1,014/2,418)

■考察及び検証

抗原定性検査(簡易キット)による水際対策の社会実験報告書(中間報告)のとおり飯田医師会の協力を得て分析を行なった。

2 今後の対応

■社会実験Ⅱの実施

- 報告書や飯田市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議等での検討を踏まえ、社会実験Ⅱとして簡易検査キットの配布事業を継続して行なう。
- 社会実験Ⅱは水際対策として幅広く検査を行なうために、安価で一定の性能がある製品によりを行う。検査のタイミングに関するニーズや現実的効果（無症状陽性者覚知と早期隔離）、偽陽性や偽陰性の発生頻度などの調査を引き続き行なうため利用者のアンケートによる結果報告や感想等を求め、9月末を前半期と位置づけ、中間集計を行いながら後半の事業展開に反映させる。

■具体的方法

- 水際対策としての有効性の検証
 - ・配布を継続し、無症状の陽性者や発症前の感染者を感知して早期に隔離を行なうことで地域内の感染拡大を防止する事例を積み上げる。
 - ・検査を希望するタイミングやニーズ、鼻腔検体での検査の難易度、偽陽性や偽陰性の発生の検証を行なう。
- 実施方法
 - ①検査を希望する方は、ネットまたは申込書のFAX、郵送、窓口提出により申し込みを行う。
 - ②郵送等により検査キットを受け取る。
 - ③検査終了後、アンケート用紙(陽陰性の結果、感想等)を返送してもらう。
- 配布個数及び種類
 - ・24,000個
 - ・厚労省認可の医薬品ではないが、専門家はその性能を認めている一般向けキット
- 受付期間
 - 令和3年8月4日(水)から令和4年3月23日(水)まで
- 予算

検査キット	18,000千円	(750円/個×24,000セット)
事務委託料	5,000千円	(申請受付・問合対応・配布・アンケート集計等)
事務費	6,150千円	(広告料、消耗品費、通信運搬費等)
合計	29,150千円	
- スケジュール
 - ・8月4日 飯田市ウェブサイト等により申し込み受付開始
SNS、新聞広告、ホームページ等による広報開始
 - ・10月中旬 アンケート中間集計
 - ・3月23日 申し込み受付終了
 - ・3月下旬 アンケート集計